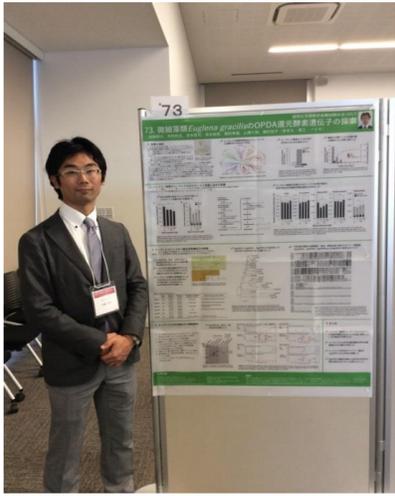


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

<p>学会名</p>	<p>植物化学調節学会 第52回大会（2017年10月27-29日、鹿児島大学、鹿児島市）</p>
<p>演題名</p>	<p>微細藻類<i>Euglena gracilis</i>のOPDA還元酵素遺伝子の探索</p>
<p>発表者</p>	<p>加藤翔太, 中村将志※、宮本皓司、湯本絵美、横田孝雄、山根久和、篠村知子 【植物分子細胞学研究室】（※印は、帝京大の卒研生）</p>
<p>内容</p>	<p>バイオ燃料の原料として注目されている微細藻類ユーグレナには植物ホルモンの一種であるジャスモン酸が存在することが報告されていますが、その生理機能は明らかになっていません。これまでの研究で我々は、ユーグレナがジャスモン酸の他にもジャスモン酸イソロイシンやジャスモン酸の前駆物質である12-オキソフィトジエン酸(OPDA)を合成していることを見出しました。このことから、ユーグレナは高等植物と同様のジャスモン酸合成経路を有していると考えられます。本研究では、ユーグレナのジャスモン酸合成経路の解明を目指し、合成系の遺伝子の一つであるOPDA還元酵素遺伝子(OPR)の探索を行った結果を発表しました。</p> <p>本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、H29年度の本研究室の卒研生も研究の一部を担当しました。</p>
<p>関連画像</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>